

わどまのり



第153号

Contents

こんなことが決まりました.....	2P
pickup 人事案件.....	3P
9名の議員が町政を問う.....	4P
決算認定・監査委員より.....	12P
しっかりチェック・各種報告.....	13P
絆のバトン・編集後記.....	14P



左の二次元コードをスマートフォンなどで読み取ると、町議会のホームページにリンクします。

「いっくに入るかな？」

■令和3年第1回臨時会 (8月13日) 議案・審議・議決結果

議案等番号	件名	議員名 (議席番号順)											議事結果			
		山口明日香	島田浩樹	森富隆	川畑宏一	池田正一	喜井和夫	児玉実隆	東弘明	中田隆洋	山下幸秀	桂弘一		永野利則		
	【表の見方】 報：報告 承：承認 議：議案 陳：陳情 発：発議 ◎：全会一致 ◇：賛成 ◆：反対 ー：表決権なし															
議 30	工事請負契約の締結 (地域包括支援センター建設工事)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	一	可 決

※永野利則議員は議長職のため、特別多数議決以外の議案については表決 (賛成・反対の意思表示) 権はありません。

■令和3年第3回定例会 (9月14日～24日) 議案・審議・議決結果

議案等番号	件名	議員名 (議席番号順)											議事結果			
		山口明日香	島田浩樹	森富隆	川畑宏一	池田正一	喜井和夫	児玉実隆	東弘明	中田隆洋	山下幸秀	桂弘一		永野利則		
	【表の見方】 報：報告 諮：諮問 議：議案 陳：陳情 発：発議 ◎：全会一致 ◇：賛成 ◆：反対 ー：表決権なし															
報 4	財政健全化判断比率	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
報 5	資金不足比率	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
報 6	放棄した私債権の報告	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー	ー
諮 1	人権擁護委員候補者の推薦	無記名投票 賛成 11 反対 0											一	同 意		
議 31	定住促進住宅の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例の制定	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	一	原案可決
議 32	国民健康保険条例の一部を改正する条例の制定	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	一	原案可決
議 34	固定資産評価審査委員会の委員の選任	無記名投票 賛成 11 反対 0											一	同 意		
議 35	固定資産評価審査委員会の委員の選任	無記名投票 賛成 11 反対 0											一	同 意		
議 36	固定資産評価審査委員会の委員の選任	無記名投票 賛成 11 反対 0											一	同 意		
議 37	令和3年度一般会計補正予算 (第4号)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	一	原案可決
議 38	令和3年度国民健康保険特別会計補正予算 (第2号)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	一	原案可決
議 39	令和3年度介護保険特別会計補正予算 (第1号)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	一	原案可決
議 40	令和3年度後期高齢者医療特別会計補正予算 (第1号)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	一	原案可決
議 41	令和3年度下水道事業特別会計補正予算 (第2号)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	一	原案可決
議 42	令和3年度農業集落排水事業特別会計補正予算 (第1号)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	一	原案可決
議 43	令和3年度水道事業会計補正予算 (第1号)	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	一	原案可決
議 44	令和2年度一般会計歳入歳出決算認定	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	一	認 定
議 45	令和2年度国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	一	認 定
議 46	令和2年度奨学資金特別会計歳入歳出決算認定	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	一	認 定
議 47	令和2年度下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	一	認 定
議 48	令和2年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算認定	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	一	認 定
議 49	令和2年度介護保険特別会計歳入歳出決算認定	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	一	認 定
議 50	令和2年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	一	認 定
議 51	令和2年度水道事業会計剰余金の処分の議決及び決算認定	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	一	可決及び認定
議 33	和泊町過疎地域持続的発展計画の策定	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	一	可 決
議 52	副町長の選任	無記名投票 賛成 11 反対 0											一	同 意		
議 53	教育委員会教育長の任命	無記名投票 賛成 11 反対 0											一	同 意		
議 54	教育委員会委員の任命	無記名投票 賛成 3 反対 8											一	不同意		

ココが聞きたい 一般質問 町政を問う!!

令和3年 第3回
議会定例会

- 池田 正一議員
和泊町の明るい未来へ..... P 4
- 喜井 和夫議員
生活安定と福祉向上の
町づくりを..... P 4
- 桂 弘一議員
町長の政治姿勢を問う..... P 5
- 東 弘明議員
町民の小さな声を聴く..... P 6
- 森 富隆議員
町民に寄り添った町政を..... P 7
- 山口 明日香議員
女性の視点を活かした政策を.... P 8
- 島田 浩樹議員
子供達が主人公の町づくり..... P 9
- 川畑 宏一議員
持続可能なまちづくりを推進.... P 10
- 中田 隆洋議員
家庭学習にオンライン授業を.... P 11

一般質問とは??

議員が町の行財政全般について、事務・予算等の執行状況や、今後の考え・方針を聞き、疑問点を質すこと。



和泊町の明るい未来へ!



いけだ しょういち
池田 正一 議員

財政運営について

問 財政問題についての方策は。

答 ①各事業の徹底的な精査
②生産性と町民サービスの向上

③総合交流アリーナ計画の見直し

以上の方策を施し、財政の立て直しに取り組む。

総合交流アリーナ建設について

問 防災拠点施設として早期建設が望まれるが、どう考えるか。

答 は、第6次総合振興計画の7つのプロジェクトの一つとして掲げ、「設備の整った避難所としての機能を持たせる」と記載しているため、避難所の機能を併せ持つ防災拠点施設の1つとして考えており、財政状況の改善が見込まれる時期が来た時に建設へ向けて取り組む。

生活安定と福祉向上の町づくりを



きい かずお
喜井 和夫 議員

施政方針について

問 財政再建を訴えて町長になったが、どのように財政再建をしていくのか。

答 歳入面では、適正な使用料・利用料の見直しや債権管理の徹底、滞納者への徴収体制を強化し収納率の向上を図り、ふるさと納税をはじめ自主財源の確保

に努める。

歳出面では、効率的ですmartな行財政運営を行うつつ、これから始まる、令和4年度当初予算編成においては、職員全体で財政状況について更に認識を深め、ひとつひとつの事業を「民間の「コスト意識」で徹底的に精査し、歳出の抑制に努めていく。さらには、財政指標の改善に向け、具体的な数値目標を設定し、早期に達成できるように努めていく。

町長の政治姿勢を問う



かつら ひろかず 議員
桂 弘一

町長の政治姿勢について

問 「政治理念の確立なくして、力強い政治は生まれない」と言われているが、町長はどのような理念を持っているか。

答 町政の最高責任者として「町民の幸福」のために尽くす。

町民が、それぞれの立場で、生き生きと懸命に働き、充実した日々が送れる、そして、新たな価値観、生活様式の中で多くの人からあこがれを持って支持され、ずっと住み続けたいと思っ

てもらえるような町づくりを目指していく。

町民との対話、議会や関係機関の皆様との連携構築に努め、相互理解を図りながら、職員と一丸となって取り組んでいく。

問 町民に対してどのような姿勢で臨まれるつもりか。

答 町民の皆様とは常に語り合い、その対話の中から和泊町の未来を考え行動していく。

そのひとつとして、広報「わどまり」9月号でも案内したが、「ランチミーティング」により様々な立場の方々と対話していきたい。お弁当を食べながらの1時間、一緒にお話しができればと思っている。

また、町長就任後、約2カ月を経過しようとしているが、この間、庁舎内外での各種会合や行事等で町民の皆様と接する機会が幾度かあり、その際にも色々な御意見、お話を伺うことができた。

今後も、町民の皆様との対話や現場の声を聞く機会を積極的に言いながら、町民目線での行政運営に取り組んでいきたい。

ランチミーティング



問 行政組織の長として、職員、議会に対しては、どのような姿勢で臨まれるつもりか。

答 職員に対しては、各所管する業務やその他関連する事務事業等について説明を受け、相互に意見交換しながら各種業務の推進に取り組んでいる。

今後も職員の働きぶりや対応などを見たり、話をしていくなかで、適材適所、生き生きと働ける職場環境づくりに努めていく。

議会に対しては、執行部の最高責任者として、12名の議員との信頼関係の構築に努め、行政運営に対して、厳しくチェックしていただき、車の両輪として「創造的批判」「監視」をお願いしたい。

町民の小さな声を聴く



ひがし ひろあき 議員 東 弘明

応について検討し、町民への情報提供を行っていく。

また、感染者が安心して療養できる体制づくりを県と連携していきたい。

悪天候時の物流対策について

昨年1月に県の「台風発生時などにおける離島の物流に関する対策会議」が開催されたが、その後どのような取り組みがなされているのか。

「台風時の離島の物流対策について」として県主催で市町村の課題や現状を共有する場が昨年1月以降2回設けられ、状況の共有をした。

本町としても、令和2年第1回定例会終了後以降、県の過疎地域持続的発展計画や県町村会へ町として要望書作成を行っている。

また、令和5年度までに奄美群島新ビジョン（仮称）が策定されることに伴い、気象条件に伴う物流の停滞については奄美群島全体の課題として記載できないか奄美群島広域事務組合と協議をしている。

また、令和5年度までに奄美群島新ビジョン（仮称）が策定されることに伴い、気象条件に伴う物流の停滞については奄美群島全体の課題として記載できないか奄美群島広域事務組合と協議をしている。

公用車の自動車継続検査について

役場公用車の自動車継続検査をする際、車検実施店はどのように選定しているのか。また、現在はそのような状況か。

自動車継続検査をする際、車検実施店の選定については、その多くが購入またはリース先の事業者（入札等により決定）へ車検を依頼しており、現在の状況についても、特殊な車両や特別な理由を除き、多くが購入またはリース先の事業者へ車検を依頼している。

現在、約90台の公用車を保有しており、その内、検査の必要がない原付バイクや重機等を除き、約70台の公用車が対象となる。町内の車検実施店において専門的に取扱うことのできる車名・車種や自動車ディーラーとの取引先など様々であるかと思うので、順番に依頼することで公平性が担保できるのか、判断は難しい。

公平を期すため、町内の車検実施店に順番で依頼することはできないか。現在、約90台の公用車を保有しており、その内、検査の必要がない原付バイクや重機等を除き、約70台の公用車が対象となる。町内の車検実施店において専門的に取扱うことのできる車名・車種や自動車ディーラーとの取引先など様々であるかと思うので、順番に依頼することで公平性が担保できるのか、判断は難しい。

今後は、公平性の観点、また車検費用削減の観点から、入札や随意契約といった手法の検討などを進めていきたい。

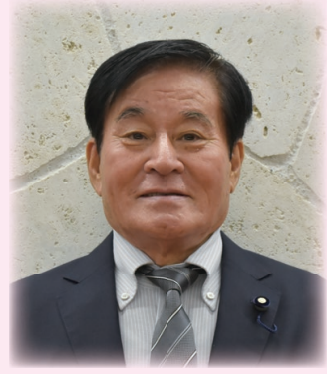


新型コロナウイルス感染症対策について
本町では、今後どのような対策を講じていくのか。
新型コロナウイルス感染症は、次々と発見される変異株による感染の広がりの中、島内での発生がない場合も継続的に基本的な感染防止策の徹底を町民の皆様へお願いしている。
島内において感染者が確認された場合は、感染拡大を防止するために、速やかに感染症危機管理沖永良部現地対策協議会を開催し、対

新型コロナウイルス感染症は、次々と発見される変異株による感染の広がりの中、島内での発生がない場合も継続的に基本的な感染防止策の徹底を町民の皆様へお願いしている。

島内において感染者が確認された場合は、感染拡大を防止するために、速やかに感染症危機管理沖永良部現地対策協議会を開催し、対

町民に寄り添った町政を



もりとみたか 議員 森 富隆

町長の施政方針について

問

先に行われた町長選挙では、本町が他市町村に先駆けて多くの事業に取り組んできた功績や、町民に大きな恩恵をもたらしてきたことを説明もせず、財政難を強く訴え続け、島内外にマイナスイメージばかりを広め、結果として町民を二分してしまう状況を生んだが、この責任をどう考えているのか。

答

本町はこれまで、長きにわたり後継者が跡を継ぐという形で政治が引き継がれてきた。その様な状

況の中、今回私が選ばれたことにより、周りに大きな動揺や戸惑いがあったことについては、承知している。

私自身、これまで脈々と引き継がれ発展してきた和泊町政に対し、大いなる敬意と感謝の念を抱いている。

選挙においては、それぞれの立場で様々な想いから過ぎた発言もあり、不愉快な思いをされた事もあるうかと思う。

そのことに対し、その思いを心に刻み込んだ上で、これからの町づくりを積極的に取り組んでいく。

問

議会との信頼関係構築についてはどのように考えているか。

答

町民の皆様と一緒に頑張って創り上げる町づくりの実現へ向け、町民と行政、議会がそれぞれの果たす役

割と責任を自覚するとともに、相互の特性を理解し合い、目的を共有することが重要であり、相互の信頼感があつて初めて実現できるものと考えている。

今後も、町民や議会との信頼関係をより強固なものにしていけるよう努めていく。

問

職員（再任用・会計年度任用・配置等）についてはどのように考えているか。

答

職員の採用については、近年の社会情勢の変化、自然災害への対応、複雑多様化する行政ニーズ等に的確に対応していくため、また、第6次和泊町総合振興計画に掲げられている基本計画の推進や、重点施策を推進するため、定員適正化計画に基づき、現在の常勤職員数と同程度の144名を基準に新規採用職員の

採用を行う予定。

職員の配置については、第8次行財政改革大綱に基づくPDCAサイクル※による行政評価を実施し、業務分担の適正化を図り、人事評価制度を活用しながら、適正適所な人事配置に努める。

その中で、再任用職員については、知識や能力、経験等が活用される職場へ配置するとともに、会計年度任用職員については、常勤職員の不足する業務へ適正配置し、研修や人事評価を通じて、それぞれの職員の一層の活用と育成を図る。

※ PDCA サイクルとは？

Plan (計画)、Do (実行)、Check (評価)、Action (改善) の頭文字を取ったもの。この4つを繰り返すことをいう。



女性の視点を活かした政策を



山口明日香 議員

子育て支援について

問

令和3年2月に開催した子ども・子育て会議の答申を受け、和泊幼稚園・わどまり保育園・各こども園の将来的な運営についてはどのように考えているか。

答

子どもたちの安心・安全の観点から、和泊幼稚園とわどまり保育園については、統合して新たな児童福祉施設の建設を早急に取り組んでいかなければならないと考えている。建設にあたって、施設の規模、事業費、事業主体、建設場所等については、プロジェクトチーム

及び建設に伴う検討委員会を立ち上げて協議していく。現在、社会福祉協議会をはじめ関係各課と調整を行っている。子ども子育て会議の付帯意見として、和泊幼稚園とわどまり保育園との統合だけでなく、和泊町全体のこども園についても協議してもらいたいとあったが、保護者や地域の方々、職員の見解等もあるので、今後検討する必要があると考えている。

女性の視点を活かした防災対策について

問

避難所開設時に各避難所で運営に当たる女性支援スタッフの現状と役割についてどのように考えているか。

答

現在、避難所（公民館）の開設については、各

字の区長へお願いしている。避難所の運営は、各字の自主防災組織で運営をしており、活動内容は、今年度4月に全世帯へ配布した「和泊町防災マップ」にも記載している。平常時の活動として、「地域内の防災点検」「防災訓練の実施」「防災知識の普及」「防災資機材の整備」などがある。災害時の活動として、「情報の収集・伝達」「初期消火活動」「救助活動」「医療救護活動」などがある。

自主防災組織での女性スタッフは、婦人会や女性消防団員が該当すると思う。女性支援スタッフの現状と役割は、平常時・災害時の活動の中で、女性視点での協力体制をお願いしたい。

問

各避難所での乳幼児や女性に必要な支援についてはどのようになっているか。

答

現在避難所においては、様々な事業を活用して、避難所の充実を図っている。昨年度は、国頭・上手々知名・大城・内城・瀬名・谷山字の避難所となっている公民館の改修を実施している。その中で、大城・谷山字の公民館では、個室専用のトイレの増設を行っている。多くの避難所では、個室や区切りがないため、乳幼児や女性に対する配慮として、新型コロナウイルス感染症対策と併用してパーテーションを30セット購入している。



▶乳幼児や女性、お年寄りに必要な物の備蓄を

子供達が主人公の町づくり



しまだ ひろき 島田 浩樹 議員

行財政運営について

現在の財政状況に対して、どう認識しているか。

本町の財政状況については、令和元年度決算において、実質公債比率が15.9%、将来負担比率が106.2%となっており、

県市町村の中で最下位となっている。

令和2年度決算については、前年度に比べ、改善は見られるが、依然厳しい状況にあると認識しており、まずは「財政立て直し」が最優先であると考えている。

第6次総合振興計画について

総合交流アリーナ建設の今後の計画についてどう考えているか。

伊地知町政では、第6次和泊町総合振興計画に「ようていあしぱープロジェクト」として位置づけ、令

和2年度から「和泊町総合交流アリーナ建設事業推進協議会」を設置し、基本構想・基本計画の策定に向けて取り組んできた。

総合交流アリーナ建設事業には多額の予算がかかるため、財政状況の改善が見込まれた時に事業を開始したい。

貸借対照表を家庭に例えてみたよ☆

資産の部 私は家、車、倉庫、畑を持っています。貯金は○○円、持ち株は○○円あります。

負債の部 家と車のローンが○○円残っています。子供に将来かかる進学費用は○○円くらいです。

純資産の部 資産から負債を引いたものが私の純粋な資産です。今後支払いがいらぬ分です。



【様式第1号】 連結貸借対照表 (令和02年3月31日現在)

Table with columns for assets (資産) and liabilities (負債), including sub-sections like fixed assets (固定資産), current assets (流動資産), and equity (純資産).



前号の訂正

前号(152号)6ページにおいて貸借対照表の一部を抜粋したものを掲載しましたが、一般的には資産・負債全てを一緒に公開することが望ましいため、今回は全体の表を掲載しております。なお、貸借対照表(連結財務書類4表)については町HPでも掲載しております。



持続可能なまちづくりを推進!



かわばた こういち 川畑 宏一 議員

問 島内での新型コロナウイルス感染症拡大を想定した体制整備や経済支援策は。

答 宿泊療養施設は知名町に1か所あるが、クラスター発生時には不足が予測され、町内への設置を県に依頼中。また、自宅待機者が健康観察にて早期に症状悪化が把握できるように、貸出用にパルスオキシメーターを確保した。5月に和泊町コロナウイルス感染症拡大防止緊急協力金事業を実施したが、ここで対象外となった事業者や飲食業以外にも対象を拡大し和泊町商業者等事業継続支援事業や、町内キャッシュ

レス推進事業による消費促進、域内観光商品券事業の実施を予定している。各種事業の展開により商工・観光事業者の支援と経済循環を一体的に進めるほか、国・県の各種事業の周知及び申請支援により事業者の経営継続を支えていく。

問 将来世代においても町民の福祉向上を達成するため財政健全化の取り組みは。

答 ①「有利な補助事業」に惑わされず、本当に必要か、高い費用対効果を生み出せるのか「民間のコスト意識」で徹底的に精査。②年功序列や終身雇用に甘えることなく、やる気や実力のある職員が評価され力を発揮できる人事制度を拡充し、生産性と町民サービス向上を実現。③総合交流アリーナ計画は、財政改善を図りつつ、事業計画を精査し広域事業の可能性、コスト削減や適正規模について再検討。

問 気候変動により多発している集中豪雨への対策は。

答 浸水被害は排水不良によるものが多く、被害発生時には消防団が土嚢設置等を行い、また、ため池が溢れないように事前のポンプ排水も実施。今後は、各字自主防災組織の充実を図り(自助・共助)、事前の浸水対策の助言や土嚢袋の配布等(公助)を実施していく。また、浸水被害があつた周辺の排水対策を関係課と進めている。

問 高齢者福祉としての沖永良部バス利用促進の取り組みは。

答 敬老バス支援事業を実施している。また、昨年度実施した「貸切バス周遊体験」は高齢者に好評で、運転手のきめ細やかな対応も喜んで頂けた。島内唯一の公共交通である沖永良部バスは高齢者をはじめ島民の足として路線の確保・維持が重要で、沖永良部バス企業団と連携し利用者目線での利便性向上・利用促進に取り組む。

問 障がい者雇用促進の取り組みは。

答 障害に関係なく、希望や能力に応じて誰もが職業を通じて社会参加のできる「共生社会」の実現は重要である。行政では、職員の募集・採用にあたり業務内容等の検討や職場環境づくり・雇用管理などに取り組み、また、在職中に障害者となつた場合も円滑に職場復帰できるよう努める。民間でも、地域で就労継続支援ができるよう関係機関と連携して取り組み、今年度は、「あまみ障害者就業・生活支援センター」に新規相談者1名、「障害者就労支援施設さねん」新規利用者1名、一般企業就労1名に繋がった。また、障害者雇用啓発のため事業者への就労説明会を計画している。

家庭学習にオンライン授業を



なかだ たかひろ
中田 隆洋 議員

譲渡型定住促進住宅について

問 譲渡型定住促進住宅の推進についてどう考えているか。

答 定住促進、公有財産の削減、民間活力を活用した経済効果などメリットもあるが、個人の資産形成にならないか、町の関与が必要なのか、入居者の条件、退去した場合の対応、建設事業者の理解など検討が必要。しかし、移住希望者の増加や核家族化・世帯分離による賃貸住宅の不足など課題も認識している。

環境保全について

問 耐用年数の迫るクリーンセンターをどう考えているか。

答 老朽化により、ごみの順次、機械設備の更新等を行うことで、最終処分場残余年数の20年程度を可能な限り延命化し、最終処分場の更新時期と同時期に合せ更新していく。次期ごみ処理施設の建設検討委員会を両町から選出し協議検討を進めていく。

問 老朽化の進んでいるし尿処理施設を今後どのように運営しようと考えているのか。

答 40年が経過しており、老朽化が著しく、設備及び機器の補修等を行いな

から運営している。

適切及び効率的な廃棄物処理を図るため、新施設への更新が望まれており、し尿前処理施設を整備する方針で関係課にて事業導入に向けて協議を進めている。

問 脱炭素社会構築に向け具体的な策は。

答 エコ住宅の体験、エコクッキング講習会を予定し、普段の生活を脱炭素型へとステップアップできるように普及啓発活動に取り組み。防災の観点からも電力を小規模の地域でつなぐ電力系統の構築を民間企業と知名町とともに連携して調査研究を進めていく。モデル地区指定を目指し、再生可能エネルギーを積極的に導入し、2050年カーボンニュートラルの達成を目指す。

オンライン教育環境について

問 家庭学習でのオンライン授業推進についてどう考えるか。

答 児童生徒の学力向上策として、ICT端末を利用した家庭学習への取り組みは有効な手段である。ただ、約20%の家庭が通信環境の整備がされていないので補助事業等の活用を検討する。

既にICT端末の持ち帰りについてガイドライン等を各学校に配布し、体制が整った学校から端末の持ち帰りについて積極的に取り組むよう指導している。



令和2年度各会計の決算額と採決の結果

区 分	歳入決算	歳出決算	差 引	採決結果	
一 般 会 計	78 億 6688 万円	77 億 9590 万円	7098 万円	全会一致で認定	
特 別 会 計	国民健康保険	9 億 8221 万円	9 億 8115 万円	106 万円	全会一致で認定
	奨学資金	1251 万円	710 万円	541 万円	全会一致で認定
	下水道事業	2 億 7117 万円	2 億 5363 万円	1754 万円	全会一致で認定
	農業集落排水事業	2 億 1310 万円	2 億 1287 万円	23 万円	全会一致で認定
	介護保険	10 億 6443 万円	9 億 9077 万円	7366 万円	全会一致で認定
	後期高齢者医療	9942 万円	9277 万円	665 万円	全会一致で認定
水道事業 (収益的部分)	1 億 7297 万円	1 億 7084 万円	213 万円	全会一致で認定	
合 計	106 億 8269 万円	105 億 503 万円	1 億 7766 万円	すべて認定 	

※決算額は、1万未満を四捨五入で掲載しているため、差引・合計額等が一致しない場合があります。

池野 識見 監査委員より (一般・特別会計について)

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響を大きく受け、町で計画した多くの事業・イベント等が中止や縮小等になり困難な行政運営だったと思うが、執行部においては、激変する環境への対応や、組織の効率化・合理化な

ど経費全般の歳出削減、財源の捻出に献身的に努力されたことは大きく評価すべき点である。

財政健全化判断指標である実質公債費比率や将来負担比率は短期間で改善できるものではなく、長い年月をかけて改善が図られるものであり、改善に向けた長期的計画を策定するなど、本腰を入れた対策が必要。執行部・議会・関係機関が一体となり町民の協力も得ながら早期に財政健全化が図られることを期待する。





事業経過を しっかりチェック!!

9月17日、決算審査特別委員会の現地調査にて、各委員会が選定した事業箇所の現状確認をおこなった。



☑ 消防団拠点施設新築工事

実施内容: 新地移転に伴い、機能強化を図るために規模を拡大して整備
鉄筋コンクリート造、平屋、一式の建築



☑ 町営住宅玉城団地改修工事

実施内容: 玉城団地1棟9戸の改修工事



☑ 研修センター改修工事

実施内容: 屋上防水改修、トイレ・研修棟改修、多目的ホールの天井張替え

☑ 「平瀬線」舗装工事

実施内容: 舗装補修



議会活動報告

8月4日 新議員研修会

主催：鹿児島県町村議会議長会

対象：和泊町・知名町の新議員

内容：議会における基礎的内容の講習



報告：

森議員

議会の使命と議員の職責・議会の権限等々の研修を参考にして、日々の議員活動・議会に活かすべく研鑽に努めたい。

島田議員

議会の使命は、「具体的な政策の最終決定」と「行財政運営の批判と監視」にある。議会の一員として懸命に努力し、議員の職責を全うしていきたい。

山口議員

議会の使命・議員の職責、一般質問を行う際の注意点や注意したい表現などを学ばせて頂いた。常日頃から質問に関する心構えを持ち、質問の成果も見届けていきたい。

議会ボランティア活動報告

7/11 (日) 笠石ゆり園にてゆり球根の堀取作業

7/16 (金) ワンジョ公園内池の清掃作業



綺麗になりました!



私が初めて沖永良部島を訪れたのは、高校3年生の春休みに鹿児島県の離島を目指した一人旅でした。その後、高校・大学を卒業、就職したのち、転勤や転職を経験し52歳で縁あって沖永良部に移住を決心しました。

移住してきた私が、地域の課題に何が必要かを考えた時に、友人知人の協力を得て立ち上げたのが、「NPO 法人^{こころね}心音」でした。

その後、平成28年に障害児通所支援事業所「サランセンター」と「子育て相談」を設立しました。

困難を抱えた子供達やその保護者には行政分野を超えて、乳幼児期から社会参加に至るまで、地域で切れ目なく支援が受けられるように「福祉・教育・医療」の連携が不可欠であると思います。



子育てにおいては、「どこに相談すればいいの?」「誰がこの気持ちを理解してくれるの?」「私の子育てが間違っていたの?」親はいつも全力で日々揺れながら、迷いながら、子供の力になりたいと思っています。

子供一人ひとりにあった教育環境を整えてあげることで子供社会の格差を少しでも解消し、子供たちが将来への可能性を見出すことができるお手伝いができればと考えます。

今後は、「安心な居場所・学習支援の居場所・得意が見つかる居場所」として誰一人置いてきぼりにしない「子どもの第三の居場所事業」をスタートさせます。

この島は、子供たちが生き生きと成長していく環境であると発信していきたいです。



プロフィール

あんたく けんじ 安徳 建二 さん(71歳)

福岡県八女市生まれ。専修大学卒業後、三菱系列会社に入社。2004年に沖永良部島に移住。2年後にNPO法人心音(こころね)を創設。2016年に障害児通所支援事業所サランセンターを設立。2021年子どもの第三の居場所創出事業(現在建設中)を開始。

誰一人置いてきぼりにしない居場所を

編集後記

新町長が誕生し、第3回議会定例会では前^{すすめ}新町長の所信表明があり、これからの町政に対する9名の一般質問がありました。また、決算審査特別委員会を設置し、令和2年度のすべての決算認定を致しました。

議会は新町政に対しても、是是非非で監視をして参ります。

文責 児玉 実隆

今号の表紙



今回は、国頭小学校秋の大運動会でのひとコマです。青空の中、子供たちは元気に笑顔で楽しんでいました♪

- | | | | | | |
|-----|------|-----|-------|------|-------|
| 委員 | 副委員長 | 委員長 | 編集責任者 | 議会議長 | 発行責任者 |
| 山島 | 中 | 児 | 野 | 永 | 利 |
| 口田 | 田 | 玉 | 野 | 利 | 則 |
| 明日香 | 浩樹 | 隆洋 | 実隆 | 永野 | 利則 |